

校長だより 橋小っ子 令和8年1月23日号

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

一月も半ばを過ぎ、早くも学校運営・教育活動のまとめの時期にさしかかってきました。今年度も残り2か月。教職員皆でしっかりと一年の締めくくりをしていきたいと思います。

冬休み明け集会で子どもたちに、「1年の計は元旦にあり」「1日の計は朝にあり」という言葉を紹介しました。何事もまず初めに計画を立てることが大事で、しっかりと計画のもと、それを着実に実行していくこと。また1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」という言葉があるように、なんとなく過ごしているとあっという間に時は過ぎてしまうので、学年末までの時間を大切に過ごしましょう。教職員共々このことを意識しながら学校生活を送っていきたいと考えています。

★★★★★★★★★★縦割り班活動★★★★★★★★★★

月1度のペースで実施している縦割り班活動。定期的な活動を実施する中で、異年齢でのいいコミュニティーができたように感じます。年明けの縦割り班活動では例年、それぞれの今年の目標や願いを絵馬をかたどった用紙に記入します。内容をみていると、「勉強」「なわとび」を頑張る、「バスケ」「テニス」「ダンス」など習い事を頑張るなど、新年をむかえ自分の新たな気持ちを書いているものもあれば、「みんなが幸せに過ごせますように。」「家族が健康で過ごせますように。」など、自分だけでなく周囲も心地よく過ごせるようにという思いを込めた、気持ちがほっこりする内容のものもあります。校舎一階廊下に掲示していますので、学校にお越しの際にはぜひご覧ください。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★縦

「よりよい学校づくりのための意識調査」

年末にお願いした上記意識調査へのご協力ありがとうございました。学校の教育活動等について様々な観点から評価をいただきました。本日お子さまを通じて「調査結果(保護者意識調査・児童アンケート)」を配布しています。保護者の皆様からいただいた思いや願いを学校としてしっかりと把握し、今年度の取り組みの成果と課題を共有し、今後より一層重点的に取り組む必要がある内容も明確になってきました。この調査結果を今後に生かし、「居心地よく過ごせる学校」を目指していきたいと考えています。

中でも特に気にかかるのは「はしもとあい(態度教育)の徹底」「基礎基本の学力の定着」。これから学年末までに今一度有効的な取組を実践していく必要があると感じています。



5年生 しめ縄づくり



2年生 季節の飾りつけ教室(絵馬)

☆☆☆☆エプロン先生ありがとうございます☆☆☆☆

1月は5年生家庭科の「エプロン制作」のミシン指導でたくさんのエプロン先生方にご協力をいただきました。大人数の5年生。スムーズに作業を進めることができたのはエプロン先生のおかげです。また今後、図画工作の「コリントゲーム」や「のこぎりぎこぎこ」での「釘打ち」「のこぎり」のお手伝いをお願いしているところです。教育活動を安心して進められることに感謝しています。ご無理のない範囲でご協力よろしくお願ひいたします。

☆☆☆PTA活動へのご協力お願いします。☆☆☆

来年度のPTA本部役員・地区委員等を決める時期になってきました。すでに本部役員をお引き受けくださる方々には連絡をさせていただいているところです。皆様ご協力よろしくお願ひいたします。また年度末にかけて、今年度の活動内容の振り返りをする実行委員会等も予定しています。皆様のご協力のもと、よりよい活動にしたいと思いますので、ご出席のほどよろしくお願ひいたします。

☆☆☆☆☆☆☆感染症対策を…☆☆☆☆☆☆☆

インフルエンザ等感染症の流行する時期になってきました。本校ではまだ感染の兆しはありませんが、日頃から手洗いうがい、必要時のマスクの着用等基本的な感染症対策にご協力をお願いします。それが毎日の健康チェックをしっかりとし、よりよい睡眠でゆっくり1日の疲れをとり、この時期を健康で元気に乗り越えたいですね。

☆☆☆☆☆よりよい睡眠のために☆☆☆☆☆☆☆

1月13日、4年生以上の児童と、地域・保護者の皆様にもお声掛けさせていただき、くまのこころのクリニックの看護師そして睡眠健康指導士としても活躍されている、西山直子様の上記講演会を実施しました。「『睡眠』は脳をメンテナンスできる唯一の時間。明日をよりよい一日にするために私たちは眠りにつくのです。」という言葉がとても印象的でした。各ご家庭に資料を配布させていただきました。ご参考にしてください。



6年生 歯磨き指導



4年生 味噌づくり

『二十四節気と七十二候の季節手帖』(山下景子著)より紹介します。

「節分」は、季節の分かれ目という意味です。ですから、本来の節分は年に四回。立春、立夏、立秋、立冬の前日のことでした。立春が一年の始まりでもあった旧暦では、その前日で一年が終わります。つまり、大晦日と同じ意味合いがあったというわけです。じつは豆まきも、本来は年越しの行事。また、年の数だけ豆を食べる風習も、正月を迎えるために、全員がひとつ歳を重ねていったという名残です。年越しの意味合いがなくなつても、邪気を払い、幸せを祈る気持ちは同じ。大切な行事ですね。